

「プラっとサーチ」を活用した出前授業

プラっと探検隊による品川区立日野学園での出前授業のレポートです。

「プラっとサーチ」：<https://search.pprc.gr.jp/>

■日時：2025年1月16日（木）4校時 11：45～12：35

■参加：品川区立日野学園5年生（3クラス）のみなさん
プラっと探検隊参加者：9名

3クラスで出前授業

品川区立日野学園は、小中一貫教育を行う義務教育学校です（2006年4月開校。施設一体型の公立学校としては全国初）。

出前授業は5年生の3クラスが対象です。

プラっと探検隊員からは、

- 1組：王さん（マルハニチロ株式会社）
- 2組：小笠原さん（雪印メグミルク株式会社）
- 3組：本井さん（山崎製パン株式会社）

が各クラスの担当講師となりました。当日は学校公開を実施中で、保護者の皆さんも興味深く出前授業を見学していました。



出前授業は、プラっと探検隊の自己紹介から、「中身を守る」「便利にする」「情報を伝える」といったパッケージの役割、パッケージと環境との関係へと進みました。各組の講師はそれぞれ自社の商品を例に挙げつつ解説し、生徒達は自分たちの身近にある商品を作る企業で実際に仕事している講師の話に、熱心に耳を傾けていました。

続いて、パッケージごみを減らすために自分でできる行動や、企業による環境にやさしいパッケージ開発の取組みについて、生徒達と講師との間でやり取りを行った後、班ごとに分かれて「プラっとサーチ」を用いたグループワークに入りました。



参加者全員でグループワークを実施

グループワークでは、配布された商品サンプルとプリントを用いて、「プラっとサーチ」を見ながら実際に行われている環境配慮の取組みを確認したり、自分の知っている商品のパッケージの工夫等を調べ、グループディスカッションを実施しました。

3クラスで班ごとに分かれての作業であったため、プラっと探検隊メンバーに加え、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会の事務局スタッフも加わり、「プラっとサーチ」の見方や質問の受付など、総出でグループワークをサポートしました。

グループワーク後の発表では、各クラスとも次々と手が挙がりました。

- ・ふだん、中身がおいしいとかそういうことに気をとられていたけれど、パッケージにもこだわりがあることが分かった。
- ・中身がおいしいのはパッケージがあるからということが分かった。
- ・パッケージにはアレルギー表示があるなど、伝える役割もしていることは知らなかった。
- ・環境にやさしい工夫は1つだと思っていたけれど、工夫の方法がたくさんあることを知って驚いた。

などさまざまな発表があり、「いろいろな企業が工夫をしていることが分かって、すごいなと感銘を受けた。」という感想には、「そう言ってもらえてうれしいです」と講師も答えていました。

授業のまとめ・質問コーナー

講師からはまとめとして、「私たち企業も、未来の環境を守りたいと努力をしている、みんなも一緒に取り組んでほしい」「商品を選ぶ時も、プラスαで環境のことも考えてほしい」「自分たちのできることから行動してほしい」「お家の人とも話し合ってみてほしい」とお願いし、将来働く時にはぜひ仲間になろう、と呼びかけました。

質問コーナーでは、さまざまな質問が飛び交いました。

- ・パッケージがリサイクルされるとどんな物にリサイクルされるの？
- といった「パッケージと環境」に関する内容のほか、
- ・ガチャガチャのプラスチックの玉は商品なの？ パッケージなの？
 - ・野菜に虫がつかないように薬をかけるのは環境にやさしいの？



など、「パッケージと環境」をきっかけに、生徒達が身の回りのことと環境との関わりについて自分ごととしてとらえ、興味を持っていただいたことが伺えました。

・いちばん環境にやさしいパッケージは何ですか？

という質問には、講師から「さまざまな企業が競争をしているので、今の時点では分かりません。将来、みんなにも参加してもらって一番を勝ち取っていきたいです」と答えがありました。

出前授業の内容に関するアンケート調査、感想文は生徒一人ひとりがオンラインのフォームに記入、提出していただきました。このようなところにも教育現場のデジタル化の流れを感じます。以下、感想文の抜粋です。



- ・どの企業も企業なりの工夫があり SDGs に協力しているということを学んだ。
- ・パッケージの役割と、どんな工夫をしているかを詳しく知れて、知識が増えてよかったです。
- ・環境にやさしいパッケージを作るのはむずかしいことだとわかった。パッケージを考える企業だけでなく自分も分別するなど身近なことから行っていこうと思った。
- ・いつも身近であるパッケージや物はプラスチックをたくさん使っている事がよく分かったし、これから物を買う時はそう言う環境の事も考えながら買おうと思いました。今日はありがとうございました。

先生方からも好評をいただきました。

- ・見たことのある実際の製品を手にとって調べてみる活動が子ども達はとても楽しかったようです。
- ・パッケージの役割や改良を教えていただいたことで、「見たことある、知ってる！」から、「もっと知りたい、調べたい！」という思いが変わって、プラっとサーチで黙々と調べ学習を進める児童が多く見られました。
- ・授業は、普段目にはしているけれど、そこまで深く考えていなかったパッケージについて知り、様々な気づきと、作ってくださる方々の思いを児童が考えることができていました。

生徒のみなさんや先生方から本当に熱心な反応をいただきました。今回の授業でパッケージの役割や環境への工夫を知ってもらい、自分ごととして関心を持ってもらえたことが、探検隊をはじめ事務局のメンバーにとってもとても有り難く嬉しい授業でした。